

「消防学校ニュース」

平成 28 年 12 月 28 日発行

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/shobogakko.html>

◆処置拡大追加講習(第2回) --- 救急救命士の処置範囲拡大で救命率向上 ---

12月19日(月)から22日(木)までの4日間で、処置拡大追加講習を実施し、90人の救急救命士が受講しました。

傷病者の救命率の向上を目指し、平成26年4月から救急救命士が病院に搬送する前に施せる処置範囲が拡大され、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸液、血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が認められました。これに伴い、平成27年度から、県内の救急救命士に対して追加された2行為の講習が始まりました。今年度は2回目の講習で、追加された2行為の認定救命士90人が誕生しました。

講師を務めていただいた県内の医師の方々や指導的立場の救急救命士の皆さんには、厚く御礼申し上げます。

写真は“静脈路確保と輸液に関する基本的手技”実習の様子



◆初任教育 12月の訓練

平成28年度初任科第86期の12月の教育訓練は、座学では「建築・設備」「火災防ぎょ」「防災」「安全管理」「火災調査」など実務教育を実施しました。実科教育は、「機器取扱訓練」では空気呼吸器や投光器の使い方、濃煙熱気内の活動要領、暗所に取り残された要救助者を想定しての検索救助操法、三連はしご操法などを実施しました。「消防活動訓練」では速消ボックスからのホース展長、ホースカーによるホース展長やホースバックを使用した消防活動を実施しました。

消防活動訓練（放水訓練）



消防活動訓練（ホースカー取扱要領）



三連はしご操法の訓練

